

オダトモヒト

発行部数累計740万部を超える大ヒットマンガ「古見さんは、コミュ症です。」を描くのは、蒲郡出身のマンガ家だったんです！

マンガ家を目指したきっかけ

兄が買っていたマンガを読むうちに、マンガの世界に引き込まれたことです。マンガコーナーをうるつくだけのために、友人と夜遅くに三谷の精文館に入り浸ったりしていました(笑) お店の人には迷惑だったかも…

マンガの中に登場する蒲郡のスポット

図書館は参考にしました。あとは、古見さんのおばあちゃんの家や古見さんの両親が若いころの話は、蒲郡と、わかりやすい田舎のイメージをミックスさせた町が舞台となっています。

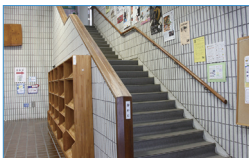
今でも蒲郡を身近に思うエピソード

山、川、植物などの自然を描く

作中の図書館



実際の図書館



ときは、住んでいた五井町を思い浮かべます。

好きな蒲郡グルメ

身の回りにあるのが当たり前だったので、特別これというものはありませんが、僕の子どもは、蒲郡から送られて来るみかんが大好きですね。

蒲郡のお気に入りスポット

初詣の竹島ですかね。死ぬほど寒いですが(笑)

離れてみて感じる蒲郡

18歳の時飛び出して12年ほどたちましたが、時々帰ると全然知らない大きい道ができています。便利になったんだなあと思うと同時に、自分の知ってる場所が減って少し寂しくもあります。

ストーリーの作り方

基本的には、自分の理想の学生生活を描くようにしています。なので大きな困難や、深刻な話はありません。スリルや、

驚きを求めている人には合わないかもしれません。普通の域を超えない学生生活の追体験をこの作品で感じてほしいです。

マンガの魅力

一人で作れることです！アニメやドラマ、映画は本当に多くの人に関わっているの、面白いもの、自分が納得するものを作るのが本当に難しい!!個人の理想や、能力が大好きです。

好きなことを仕事にするために大切なこと

好きなことでお金がもらえるのはとてもいいことです。ただし、好きなことを仕事にすると、辛くなってしまいう場合もあり、好きなことを一つ失うことになりかねないので注意！好きという気持ちで他の人に負けるな！一番好きであれ！と思います。



大学在学中に小学館新人コミック大賞を受賞。平成26年に週刊少年サンデーで初連載。平成28年～「古見さんは、コミュ症です。」を連載中。同作品は、アニメ・実写ドラマ化され、第67回小学館漫画賞少年向け部門を受賞。



代表作

「古見さんは、コミュ症です。」

人見知りすぎる女子高校生の古見さんが、普通すぎる只野くんと一緒に友達を作っていくコメディ作品です。